

# は せ が わ 長谷川 えつこ



レッツゴー 長谷川通信

2022年 冬号 市政活動報告 vol.17

### はせがわ えつこ Profile

**経歴**  
 日本大学 経済学部 卒業  
 野村証券株式会社  
 フルテンシャル生命保険株式会社 E-link 代表取締役

**資格**  
 宅地建物取引士、秘書検定  
 証券外務員2級、1級小型船舶免許

**2児の母&2匹のママ**  
 息子(中学生・バスケット部)  
 娘(小学生・スイミング)  
 犬(柴犬)、猫(保護猫)

**趣味**  
 ゴルフ、ZUMBA、サルサ、マラソン、バレーボール  
 特技: お弁当作り!

## 令和4年 第3回市会定例会(9/6~10/14)活動報告

### 上郷深田遺跡、ついに念願の報告書の刊行が実現へ！！

上郷深田遺跡は県内唯一の製鉄遺跡と言われ、飛鳥時代から奈良時代を経て、平安時代前期までのおよそ200年もの間地形を活かして営まれた製鉄遺跡です。

舞岡・上郷線の道路建設に伴い、1986~87年にかけて横浜市埋蔵文化財調査委員会によって発掘調査が行われ、製鉄関係の炉を中心に20箇所以上の遺構が検出されました。調査の結果は地域の歴史や文化財を解明するうえで重要な歴史的資料となり、しっかりと市民に還元すべきと考えます。

上郷深田遺跡は道路建設に伴う調査において一部発掘調査をしたものの建設する道路下は未調査部分があり、全体像が明らかになっていません。

未調査部分は埋め戻され二車線の暫定道路が走り、調査部分は発掘調査概報のみが刊行されていますが、**文化庁の見解では、概報だけでは正式な報告書にならない**とされています。埋蔵文化財発掘調査の調査基準において、報告書は原則として作業終了の翌年度から3年以内に刊行するとされているにも関わらず、**30年以上放置されたまま自治体が発掘調査報告書を作成しない**という**ことはあってはならないこと**です。

上郷深田遺跡を含むエリアは横浜市の管轄であり、**遺跡調査を怠ることは文化保護法違反にあたるもの**だと思われます。

これら遺跡に関する重要事項を教育委員会に指摘をし、「**記録保存の発掘調査を行う予定とし、報告書の刊行をする**」ということになりました。今後も**国政・市政で連携を取り**活動していきます。

## 30年超先送りの報告書 刊行

**上郷深田遺跡** J.R根岸線港南台駅の南方約1.1kmの丘陵斜面から発掘された。1988年に横浜市埋蔵文化財調査委員会が編纂した「発掘調査概報」によると、製鉄関係炉18カ所(うち製鉄関係炉1カ所)、鍛冶に伴う堅穴遺構1カ所、砂鉄を出土した堅穴遺構1カ所、堅穴住居状遺構5カ所などを確認。土器や製鉄遺跡特有の炉壁や鉄滓(てつざい)など、数種の遺物も出土し、横浜市と、歴史文化財埋蔵文化財センターで保管されている。



上郷深田遺跡で見つかった製鉄炉(左)と特殊遺構(横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター提供)

この問題で、市は市計に向けて調整して「ハ」と述べた。

横浜市栄区にあった県内唯一の古代製鉄遺跡「上郷深田遺跡」の発掘調査報告書が二十年以上も刊行されていなかった問題で、横浜市教育委員会は四日、速やかに報告書を刊行しよう関係局と調整する方針を明らかにした。市会決算第1特別委員会**長谷川悦子(立憲)**の質問に埋蔵文化財センター長が答えた。(阿部博行)



横浜市にも、上郷深田遺跡発掘調査報告書(発掘調査概報)と、関連施設「上郷深田遺跡」について県が刊行した約280ページの発掘調査報告書(発掘調査概報)が、埋蔵文化財センターに保管されている。

### 横浜市「郷土の歴史 知る機会に」

埋蔵文化財センター長は「発掘調査報告書が適切に刊行されることによって発掘された遺跡の歴史や文化財の記録保存に必要な手続きを長年、完了させずにきたことを認めたいうえで、事業者である道路局と報告書の刊行に向けて調整して」と述べた。

埋蔵文化財センター長は「発掘調査報告書が適切に刊行されることによって発掘された遺跡の歴史や文化財の記録保存に必要な手続きを長年、完了させずにきたことを認めたいうえで、事業者である道路局と報告書の刊行に向けて調整して」と述べた。

埋蔵文化財センター長は「発掘調査報告書が適切に刊行されることによって発掘された遺跡の歴史や文化財の記録保存に必要な手続きを長年、完了させずにきたことを認めたいうえで、事業者である道路局と報告書の刊行に向けて調整して」と述べた。

(東京新聞 2022年10月5日掲載)

(質問をするにあたりご協力いただきました有識者の皆さま 衆議院議員早稲田ゆき、同事務所に、御礼と感謝をいたします)